

「岩倉の子ども」を育てる これからの保育

保育先進市と言われる岩倉市。昭和40年の岩倉団地の完成・入居開始をきっかけに、働くおおかあさんたちの要望を受けて、他市にさきがけ保育園での0歳児保育がスタートしました。まだ「乳児保育」という言葉さえ目新しかった時代、当時の保育士たちは勉強会を重ね、試行錯誤しながら保育に取り組んできました。

それから40年余り、少子化への対応、3歳未満の待機児童解消など、岩倉の保育もさまざまな課題に直面しています。

そのようななか、コンパクトなまち・岩倉の良さを生かして始まったのが「幼保連携の推進」。幼稚園に通う子ども、保育園に通う子ども、卒業すれば市内5つの小学校に上がります。お互いの交流を深めて、より質の高い就学前の保育・幼児教育をめざすとともに、新たな民間保育園の開設によって待機児童の解消を図ろうというもの。まずは近くの幼稚園と保育園同士が「姉妹園」となっていく。お互いの違いや新しい発見を分かち合っています。

「子育てのしやすいまち・岩倉」の意欲ある挑戦が始まっています。



孤独死を防げ!

ひとり暮らし高齢者見守りサポート隊

孤独死を防ごうと、岩倉団地では住民が主体となり、一人暮らしの高齢者を見回る活動が始まりました。

岩倉団地に一人で暮らす65歳以上の高齢者は、およそ300人。中には民生委員に申告していない人も多く、実態がつかみきれないのが現実。「なかなか自分からは発信しない、そういう一人暮らしを見守りたい」と言うのはサポート隊の代表を務める岩倉団地自治会長の児玉寿吉さん。

サポート隊では、市と協力して、活動を始めるにあたって、まず顔合わせの会を開き、見守り支援者と見守られるお年寄りが、互いに知り合うことから始めました。今では、「見守り支援者」が数人のお年寄りを担当して、日々さりげなく見守っています。「明かりはついているか、ポストに郵便物はたまっていないか、時には声をかけて、地域の人が見守っていますよというメッセージを送りたい」。そして数カ月に一度は交流し合っ、心を通わせたいと願っています。

地域とともに 育った 障害者施設

みのりの里

知的障害がある人たちが働く施設「みのりの里」。毎朝9時半から、各自持ち場について作業を始めます。クッキー製造、ふきんや袋物などを製品化する縫製、ネジや自動車部品をつくる軽作業を企業から請負う仕事もあります。

「彼らには納品までついてきてもらいます。自分たちが仕上げた製品がどうなるのか、仕事の仕組みを体験してほしいから」と施設長。

作業室には地域のボランティアの姿も。「みのりの里ボランティアの会」は共同作業所のころからずっと協力してくれた人たちによって結成されました。市内の中学生がボランティア体験でやって来こともあります。みのりの里の歴史は長く、父兄、地域、行政の有形無形の協力があって今に至っています。「これからも地域に見守られ、支えられる施設であり続けたい」と、仲間たちは、今年も市民ふれ愛まつりで販売するグッズづくりに張り切っています。



Living together

As one of the early pioneers of childcare services for babies less than a year old, Iwakura City is known to be a good place to raise children. Currently, efforts are being made to enhance the quality of childcare by promoting interaction between nurseries and kindergartens. Meanwhile, residents of the Iwakura Danchi (Iwakura housing complex) began watching over senior residents to keep them from becoming socially isolated. A host of volunteers have been involved at *Minori no sato*, a facility for the handicapped, since its opening.

Vamos viver juntos

Desde cedo, Iwakura veio dedicando-se no fornecimento de creches para bebês com menos de 1 ano de idade. Tornou-se conhecida como uma cidade propícia para se criar os filhos. No momento, estamos integrando as creches e os jardins de infância para elevar a qualidade do serviço de creche. No conjunto residencial Iwakura Danchi, para evitar o isolamento de pessoas idosas que vivem sozinhas, foi iniciado um "serviço de guarda" de iniciativa dos moradores. A entidade para deficientes *Minori no sato*, a facility for the handicapped, conta com a colaboração de muitos voluntários desde a sua criação.

ともに暮らす

人と人

